

## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ロブテックス  
 コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊爲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 072-980-1110

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,273	6.1	97	53.0	83	88.1	45	97.6
27年3月期第1四半期	1,200	△0.7	63	△39.9	44	△47.4	23	△44.0

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 79百万円 (100.9%) 27年3月期第1四半期 39百万円 (△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	4.84	—
27年3月期第1四半期	2.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第1四半期	6,979		3,170		43.4	
27年3月期	7,043		3,138		42.6	

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 3,028百万円 27年3月期 2,999百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,780	4.1	190	△23.2	160	△23.8	90	△28.4	9.57
通期	5,790	3.9	460	△20.6	390	△23.8	220	△28.3	23.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	10,000,000 株	27年3月期	10,000,000 株
28年3月期1Q	592,390 株	27年3月期	591,190 株
28年3月期1Q	9,408,110 株	27年3月期1Q	9,410,215 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府主導の経済政策等を背景として、企業収益や雇用環境が改善されるなど、緩やかな景気回復の動きが持続しました。しかしながら、欧州の金融不安や新興国経済の減速による影響も懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2015年度の経営スローガンを前年度に引き続き「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」とし、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、真の実力を持った企業グループとなるべく活動してまいりました。また、2015年4月に各部門の役割・使命の明確化を更に進めるべく、組織変更を行い、顧客の要求する新商品開発の実現とそのスピードアップを図るため、社長直轄部門である社長室に商品戦略企画担当を配置すると共に、商品企画部の新設などを実施いたしました。

その結果、売上高は前年同期比6.1%増の12億7千3百万円（前年同期12億円）となり、利益面では、増収や経費管理の徹底効果に加え、退職給付信託資産の運用状況が好転した影響もあり、営業利益で同53.0%増の9千7百万円（同6千3百万円）、経常利益で同88.1%増の8千3百万円（同4千4百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同97.6%増の4千5百万円（同2千3百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①金属製品事業

国内売上は前年同期に比べ増加しました。ハンドツール部門では、前期において拡販施策により売上が伸長した電設工具がその拡販施策一巡により減少という形となりましたものの、万力類の増加や新企画の工具セットが好評を得たことにより増加し、ファスニング部門では、エアリーベッター・コードレスリベッターの順調な販売に加え、工業用ファスナーも回復を見せ、切削工具部門についても順調に推移しました。海外売上についても前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では、韓国向けにおいて若干の減少はありましたが、ファスニング部門では、米州向けにエアリーベッター・コードレスリベッターが伸長しました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比6.5%増の12億1千3百万円（前年同期11億3千9百万円）となりました。利益面では営業利益が増収や経費管理の徹底効果に退職給付信託資産の運用状況が好転した影響も加わり、前年比倍増の6千8百万円（同3千4百万円）となりました。

#### ②レジャーその他事業

ゴルフ練習場への入場者数は前年同期に対しほぼ横ばいとなりましたものの、お客様一人当たり売上高の低下傾向が継続し、売上高は前年同期比1.6%減の5千9百万円（前年同期6千万円）となり、営業利益は、同2.0%減の2千8百万円（同2千9百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は69億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千3百万円減少しました。

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末比1億1百万円減の42億2千8百万円となりました。これは主に現金及び預金やたな卸資産が増加する一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同3千8百万円増の27億5千1百万円となりました。これは主に減価償却による有形固定資産の減少がありましたものの、投資有価証券の時価評価による増加があったことによるものです。

#### (負債)

流動負債は前連結会計年度末比2千1百万円減の25億2千1百万円となりました。これは主に未払費用の増加がありましたものの、買掛金が減少したことによるものです。

固定負債は同7千4百万円減の12億8千8百万円となりました。これは主に繰延税金負債が増加する一方で、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し3千1百万円増加し、31億7千万円となりました。これは配当支出に伴う利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金及び投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,513,441	1,615,947
受取手形及び売掛金	1,312,419	1,035,783
商品及び製品	953,735	1,003,789
仕掛品	224,031	233,108
原材料及び貯蔵品	171,642	174,372
その他	160,321	169,694
貸倒引当金	△5,584	△4,272
流動資産合計	4,330,007	4,228,424
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	816,641	802,620
土地	738,508	738,508
その他(純額)	569,696	572,499
有形固定資産合計	2,124,845	2,113,628
無形固定資産	44,959	42,306
投資その他の資産	543,411	595,302
固定資産合計	2,713,216	2,751,237
資産合計	7,043,223	6,979,661
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	299,612	217,496
短期借入金	1,806,485	1,825,274
未払法人税等	40,833	26,746
その他	395,834	451,793
流動負債合計	2,542,764	2,521,311
固定負債		
長期借入金	1,099,999	1,001,102
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
退職給付に係る負債	42,031	43,493
その他	217,090	240,440
固定負債合計	1,362,241	1,288,155
負債合計	3,905,006	3,809,467
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	1,556,216	1,554,750
自己株式	△149,074	△149,335
株主資本合計	2,858,188	2,856,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,726	172,221
その他の包括利益累計額合計	141,726	172,221
非支配株主持分	138,303	141,512
純資産合計	3,138,217	3,170,194
負債純資産合計	7,043,223	6,979,661

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,200,803	1,273,909
売上原価	776,748	807,860
売上総利益	424,055	466,048
販売費及び一般管理費	360,315	368,552
営業利益	63,739	97,496
営業外収益		
受取利息	37	34
受取配当金	2,916	3,393
受取家賃	1,924	2,368
その他	1,550	2,824
営業外収益合計	6,428	8,620
営業外費用		
支払利息	12,366	9,506
売上割引	12,524	12,294
その他	1,004	1,045
営業外費用合計	25,895	22,845
経常利益	44,272	83,271
税金等調整前四半期純利益	44,272	83,271
法人税等	19,434	35,065
四半期純利益	24,837	48,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,776	2,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,061	45,577

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	24,837	48,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,622	31,075
その他の包括利益合計	14,622	31,075
四半期包括利益	39,459	79,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,243	76,072
非支配株主に係る四半期包括利益	2,216	3,209



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,139,891	60,912	1,200,803	—	1,200,803	1,200,803
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,139,891	60,912	1,200,803	—	1,200,803	1,200,803
セグメント利益	34,297	29,441	63,739	—	63,739	63,739

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,213,993	59,915	1,273,909	—	1,273,909	1,273,909
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,213,993	59,915	1,273,909	—	1,273,909	1,273,909
セグメント利益	68,657	28,839	97,496	—	97,496	97,496

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。